

## 会社概要 (平成26年5月20日現在)

### Corporate Profile

会社名	株式会社クスリのアオキ
所在地	(本部) 石川県白山市松本町2512番地
電話番号	(代表) 076-274-1111
設立	昭和60年1月26日
資本金	1,337百万円
従業員数	1,243名
平均臨時雇用者数	2,792名
店舗数	229店舗
事業内容	医薬品・化粧品・日用雑貨などの近隣型小売業 (ドラッグストア)、調剤薬局

## 役員状況 (平成26年5月20日現在)

### Board of Directors

取締役会長	青木桂生
代表取締役社長	青木保外志
代表取締役専務執行役員	青木宏憲
取締役常務執行役員	垣内伸彦
取締役常務執行役員	三沢康司
取締役執行役員	澤野和彦
社外取締役	鶴羽樹一
常勤監査役	田中誠
社外監査役	隅谷護守
社外監査役	笹野守

## IRスケジュール

### IR Schedule

平成26年	8月 初旬	定時株主総会招集ご通知・株主優待のご案内発送
	8月 19日	第30回定時株主総会開催
	8月 19日	定時株主総会決議ご通知・年次報告書発送
	8月 31日	株主優待のお申込み締切
	9月 中旬	平成27年5月期 第1四半期決算発表
	9月下旬~10月	株主優待品発送
	12月 中旬	平成27年5月期 第2四半期決算発表
平成27年	3月 中旬	平成27年5月期 第3四半期決算発表
	5月 20日	平成27年5月期 決算期末日
	6月 下旬	平成27年5月期 決算発表

## 株主メモ

### Shareholders Information

事業年度	毎年5月21日から翌年5月20日まで
定時株主総会	毎年8月20日までに開催
定時株主総会の基準日	毎年5月20日
期末配当の基準日	毎年5月20日
中間配当の基準日	毎年11月20日
公告方法	電子公告< <a href="http://www.kusuri-aoki.co.jp">http://www.kusuri-aoki.co.jp</a> > ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先	電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

## よくあるお問合せ

### Shareholders FAQ

#### 住所変更のお申出先について

株主様のお取引の証券会社等にお申出ください。  
なお、特別口座の株主様は、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### 未払配当金について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

- ホームページのご案内  
<http://www.kusuri-aoki.co.jp>
- ネットショップはこちら  
<http://shop.kusuri-aoki.co.jp/>



クスリのアオキ



# BUSINESS REPORT

## 第30期 年次報告書

平成25年5月21日～平成26年5月20日



株式会社クスリのアオキ

証券コード：3398





代表取締役社長  
社長執行役員 青木 宏憲

**Q** 平成26年5月期は積極的な新規エリア開拓を進めてきましたが、来期以降の出店戦略についてお聞かせください。

当社は平成25年6月の岐阜県進出以降、平成26年1月に滋賀県、同4月には愛知県へ進出し、当期は過去最高の33店舗を出店いたしました。平成27年5月期はさらに出店速度を上げ、40店舗の新規出店を計画し、今年8月には埼玉県へも初進出いたしました。新規出店計画40店舗のうち半分以上は北関東エリア（群馬県、埼玉県）及び東海近畿エリア（岐阜県、滋賀県、愛知県）への出店を計画しております。新規エリアにおいても当社の基本戦略であるドミナント化を推進して認知度を高め、お客様に支持される店づくりを継続し、全国に通用するドラッグストアチェーンを目指してまいります。

**Q** 競合他社との競争が激化する中、どのような差別化を行っているのでしょうか。

ドラッグストアの担うべき役割は、少子高齢化や医療費高騰問題などを背景に今後ますます重要性を増すと考えられますが、過剰な出店競争やM&Aによる淘汰が進み、競合他社との競争はさらに激化するものと予想されます。そうした厳しい環境の中で当社は、お薬や日用品を購入できる従来のドラッグストアではお客様にご満足いただけないと考え、「便利性」と「専門性」を追求した店舗づくりを進めております。

お客様にとって便利なお店とは、身近にあり、日常生活に必要なものが1回のお買い物でそろえること。当社では、お客様の来店しやすい場所に出店し、お客様のライフスタイルの変化に合わせて売場を常に進化させております。平成26年5月期は、日配品や冷凍食品の品ぞろえ強化を中心に、既存店舗の全面改装を積極的に実施いたしました。一部大型店舗では惣菜や精肉専門のテナントの導入など、さらなる便利性を追求しております。



また、自分の健康は自分で守る「セルフケア」への関心の高まりや「医薬分業」の進展などにとともに、当社では専門性の強化が不可欠と考えております。平成26年5月期においても、地域医療の一翼を担う、近くて便利な「かかりつけ薬局」を目指してドラッグストアへの調剤薬局併設を進め、併設率は49.3%まで達しました。待遇強化や欠品対策などにも力を入れ、お客様にご満足いただける調剤薬局づくりを推進しております。



**Q** 平成26年5月期は中期目標であった売上高1,000億円を達成しました。今後の展望をお聞かせください。

当社は平成22年5月期、上場以来初めての減益を経験いたしました。そうした状況の中で、平成26年5月期売上高1,000億円達成を中期目標として掲げ、組織を再構築し、新たな店舗フォーマットの追求、そして調剤事業のさらなる強化を推進してまいりました。既存店舗の改装や新規店舗における食品強化型の新フォーマットはお客様にご支持をいただいていると認識しております。また医薬分業の進展とともに調剤事業も好調に推移し、当期は中期目標を達成することができました。しかし、業界再編の動きが活発となる中で当社が生き残っていくためには、企業規模の拡大が不可欠であると認識しており、新規出店を加速させながらさらなる成長を目指してまいります。今後も、さらに激化するであろう競合他社との競争に備えるべく、本格的なチェーンストア経営に向けてローコストオペレーションの取り組みを実施しながら、便利性と専門性を兼ね備え、お客様に選ばれる店づくりを進めてまいります。

**Q** 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

私は、当社が企業として継続的な発展をしていくことこそが、株主の皆様のご期待に応えるための最大の責任であると考えております。現状に満足することなく気持ちを引き締め、社業の発展、企業価値向上に全力で取り組んでまいります。

今後ともより一層のご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

## 新規エリア・東海近畿エリアへ続々出店中

平成26年5月期は、岐阜県、滋賀県、そして愛知県へ初進出し、東海近畿エリアの出店を強化しております。同エリアにおけるドミナント出店を継続して認知度向上を図るとともに、当社の新フォーマットである食品強化型店舗の出店や、ドラッグストアへの調剤薬局併設を推進し、新規エリアにおいてもお客様にご支持いただける店舗づくりを進めてまいります。

### 東近江幸町店（滋賀県東近江市） 3月 オープン



滋賀県内で3店舗目の出店であり、同県内では壺仙寺店に続き、青果、精肉といった生鮮食品を取り扱う店舗です。お客様からは「便利なお店ができて助かる」というありがたいお声を多数いただきました。

### 東五城店・東五城薬局（愛知県一宮市） 東五城店 4月 オープン 東五城薬局 6月 オープン



愛知県進出の第1号店です。当店の所在する一宮市は名古屋市へも車で20分程度の距離にあります。

また今年6月には調剤薬局を併設してオープンしました。お客様からのさらなる認知度向上を図るとともに、当社の

強みである便利性と専門性を武器に、お客様に選んでいただける店舗づくりを目指します。

### 平成27年5月期 埼玉県へ初進出

今年8月、埼玉県深谷市に第1号店を出店いたしました。同市は新潟県、群馬県を通る関越自動車道に近く、両県に所在する当社店舗と物流面で相乗効果が期待できることなどから、平成24年に進出した群馬県とともに、北関東エリアでの出店強化を図ります。

## 惣菜にお肉・・・新業態店舗オープン

当社は平成23年5月期より、お客様のライフスタイルの変化に合わせ、日配品や冷凍食品、青果といった食品の品ぞろえを拡充するための既存店全面改装や、新規店舗での実験検証を実施しております。平成26年5月期は食品強化型の新フォーマットを武器に、新規出店ペースを加速してまいりました。そうした中、新たな取り組みとして、惣菜や精肉を取りそろえ、日常生活で欲しいものが1回のお買い物でそろえ、ワンストップ型の新業態店舗をオープンいたしました。今後も、社会環境の変化やお客様のニーズに迅速に対応しながら、お客様にとってより便利な店舗づくりを追求してまいります。

### 上市店（富山県中新川郡上市町） 3月リニューアルオープン

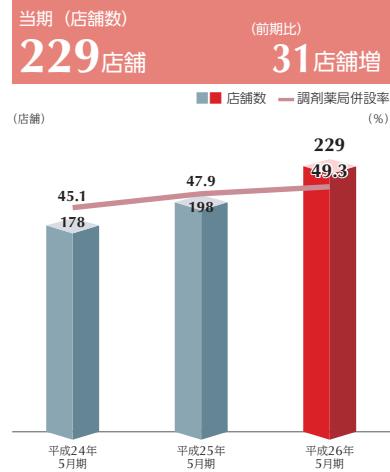


大型の既存店舗を全面改装し、惣菜・精肉テナントを導入いたしました。オープンセールでは、まるでスーパーマーケットのような生鮮食品売場は多くのお客様でにぎわい、コロッケやお肉、お弁当などをお買い求めいただきました。

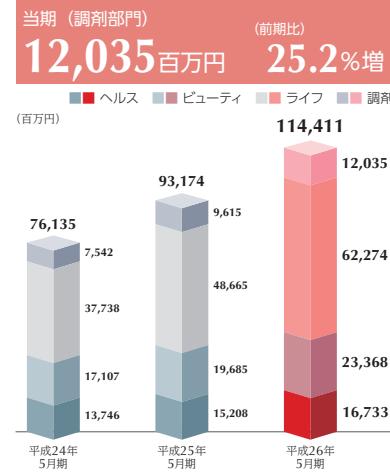


▶ 財務ハイライト

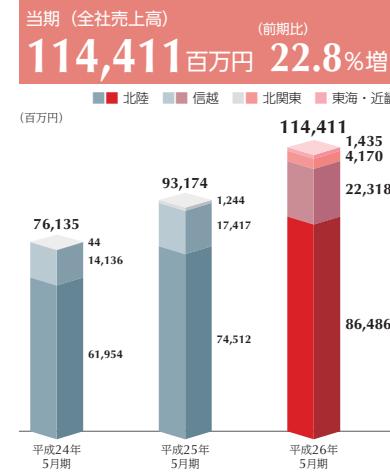
■ 店舗数／調剤薬局併設率



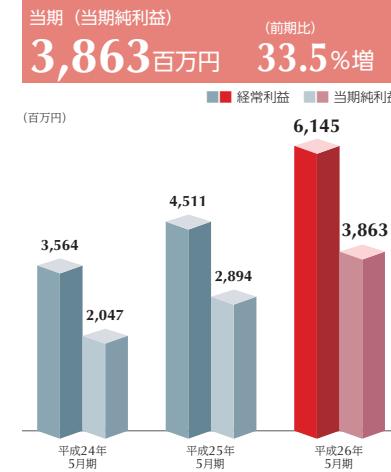
■ 売上高 (商品部門別)



■ 売上高 (エリア別)



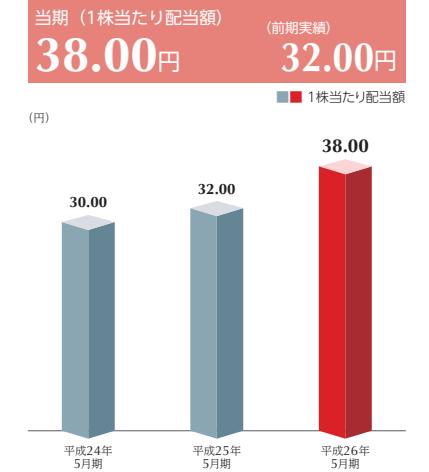
■ 経常利益／当期純利益



■ 純資産額／総資産額／自己資本比率



■ 1株当たり配当額



▶ 当期 (平成26年5月期) の営業の概況

ドラッグストア33店舗 (石川県1、富山県7、福井県1、新潟県4、長野県3、群馬県6、岐阜県7、滋賀県3、愛知県1) の新規出店、ドラッグストア併設調剤薬局18薬局 (石川県4、富山県4、福井県2、新潟県2、長野県1、群馬県2、岐阜県3) の新規開局を行いました。一方、富山県のドラッグストア2店舗を閉店いたしました。

この結果、総店舗数は、ドラッグストア223店舗 (内調剤薬局併設110店舗)、調剤専門薬局6店舗の合計229店舗となりました。

ドラッグストア業界では激しい出店競争や価格競争に加え、他業種の参入により医薬品販売の先行きの厳しさが増す等、依然として厳しい経営環境が続いております。そのような環境の中、当社ドラッグストア部門では、食

料品の品ぞろえを拡充する店舗の全面改装を27店舗で実施した結果、お客様のご支持をいただき、既存店の売上高が堅調に推移、売上高、利益ともに伸長いたしました。

調剤部門では、併設調剤薬局の開局を進め、メディア活用による認知度向上や、患者様に気持ちよくご利用いただくための接客強化などに取り組んだ結果、処方箋枚数、売上高ともに大きく伸長しております。

以上の結果、当期の業績は、売上高1,144億11百万円 (前期比22.8%増)、営業利益59億59百万円 (前期比35.9%増)、経常利益61億45百万円 (前期比36.2%増)、当期純利益38億63百万円 (前期比33.5%増) となり、4期連続の増収増益となりました。

▶ 次期 (平成27年5月期) の見通し

今年1月には滋賀県、4月には愛知県への初進出を果たし、順調に店舗数を拡大しておりますが、平成27年5月期には初進出となる埼玉県への出店を含め、過去最多となる40店舗のドラッグストア新規出店を計画しております。食料品強化のための店舗全面改装は20店舗を計画しております。

また、調剤部門につきましては、ドラッグストア併設調剤薬局26薬局の新規開局を計画し、過去最多の新規開局数となる計画であります。その結果、平成27年5月期末の調剤併設率は51.5%となる見込みであります。医薬分業を担うインフラとしての体制を整え、地域医療の窓口となれるようサービスの向上に努めてまいります。

また、ドラッグストア1店舗の閉店を計画しております。

以上により、平成27年5月期末の店舗数はドラッグストア262店舗 (内調剤併設薬局135店舗)、調剤専門薬局6店舗の合計268店舗となります。

平成27年5月期の業績予想につきましては、売上高1,330億円 (前期比16.2%増)、営業利益54億91百万円 (前期比7.9%減)、経常利益56億円 (前期比8.9%減)、当期純利益38億80百万円 (前期比0.4%増) を見込んでおります。

貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	当 期 (平成26年5月20日現在)	前 期 (平成25年5月20日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>①流動資産</b>	<b>23,140,617</b>	<b>18,854,100</b>
現金及び預金	5,257,989	4,200,448
売掛金	1,706,308	1,164,292
たな卸資産	12,661,632	10,796,170
その他	3,514,687	2,693,189
<b>②固定資産</b>	<b>28,972,116</b>	<b>22,074,252</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>24,268,914</b>	<b>18,236,084</b>
建物及び構築物	18,475,801	14,514,108
土地	1,087,938	1,047,937
その他	4,705,173	2,674,038
<b>無形固定資産</b>	<b>895,996</b>	<b>733,844</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,807,206</b>	<b>3,104,323</b>
敷金及び保証金	2,378,945	2,112,445
その他	1,428,260	991,878
<b>資産合計</b>	<b>52,112,733</b>	<b>40,928,353</b>

科目	当 期 (平成26年5月20日現在)	前 期 (平成25年5月20日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>②流動負債</b>	<b>24,533,577</b>	<b>20,532,152</b>
買掛金	15,379,822	13,751,861
短期借入金（※）	1,982,998	1,496,742
その他	7,170,756	5,283,548
<b>②固定負債</b>	<b>10,264,113</b>	<b>6,722,388</b>
長期借入金	6,741,845	4,062,296
その他	3,522,268	2,660,092
<b>負債合計</b>	<b>34,797,691</b>	<b>27,254,541</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>17,272,755</b>	<b>13,631,825</b>
資本金	1,337,811	1,312,366
資本剰余金	1,540,595	1,515,150
利益剰余金	14,394,793	10,804,308
自己株式	△ 444	-
評価・換算差額等	22,942	27,217
<b>新株予約権</b>	<b>19,344</b>	<b>14,768</b>
<b>純資産合計</b>	<b>17,315,042</b>	<b>13,673,811</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>52,112,733</b>	<b>40,928,353</b>

※1年以内返済長期借入金

POINT ①

主な増加要因は、新規出店等による、たな卸資産の増加18億65百万円、および建物等の有形固定資産の増加60億32百万円等によるものです。

POINT ②

主な増加要因は、新規店舗の設備投資を用途とする長期借入金の増加26億79百万円、買掛金の増加16億27百万円、未払金の増加6億67百万円等によるものです。

損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	当 期 (平成25年5月21日から 平成26年5月20日まで)	前 期 (平成24年5月21日から 平成25年5月20日まで)
<b>売上高</b>	<b>114,411,669</b>	<b>93,174,542</b>
売上原価	83,500,444	68,807,789
<b>売上総利益</b>	<b>30,911,224</b>	<b>24,366,753</b>
販管費	24,951,776	19,980,040
<b>営業利益</b>	<b>5,959,448</b>	<b>4,386,712</b>
営業外収益	321,031	249,451
営業外費用	135,116	124,336
<b>経常利益</b>	<b>6,145,363</b>	<b>4,511,826</b>
特別利益	74,937	103,016
特別損失	109,506	57,672
<b>税引前当期純利益</b>	<b>6,110,793</b>	<b>4,557,171</b>
税金費用	2,247,251	1,662,367
<b>当期純利益</b>	<b>3,863,542</b>	<b>2,894,803</b>

POINT ①

主な増加要因は、税引前当期純利益61億10百万円に加え、非資金費用である減価償却費の計上19億36百万円、仕入債務の増加16億27百万円、ポイント引当金の増加3億7百万円があります。主な減少要因は、たな卸資産の増加18億65百万円、法人税の支払額18億41百万円があります。

POINT ②

主に新規出店に伴う有形固定資産取得による支出65億5百万円、敷金及び保証金の差入による支出4億85百万円、建設協力金の支払による支出4億14百万円等によるものです。

POINT ③

主に新規店舗の建物建築資金等を用途とする長期借入金による収入48億70百万円、長期借入金の返済による支出17億4百万円、リース債務の返済による支出5億93百万円、配当金2億73百万円の支出によるものです。

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

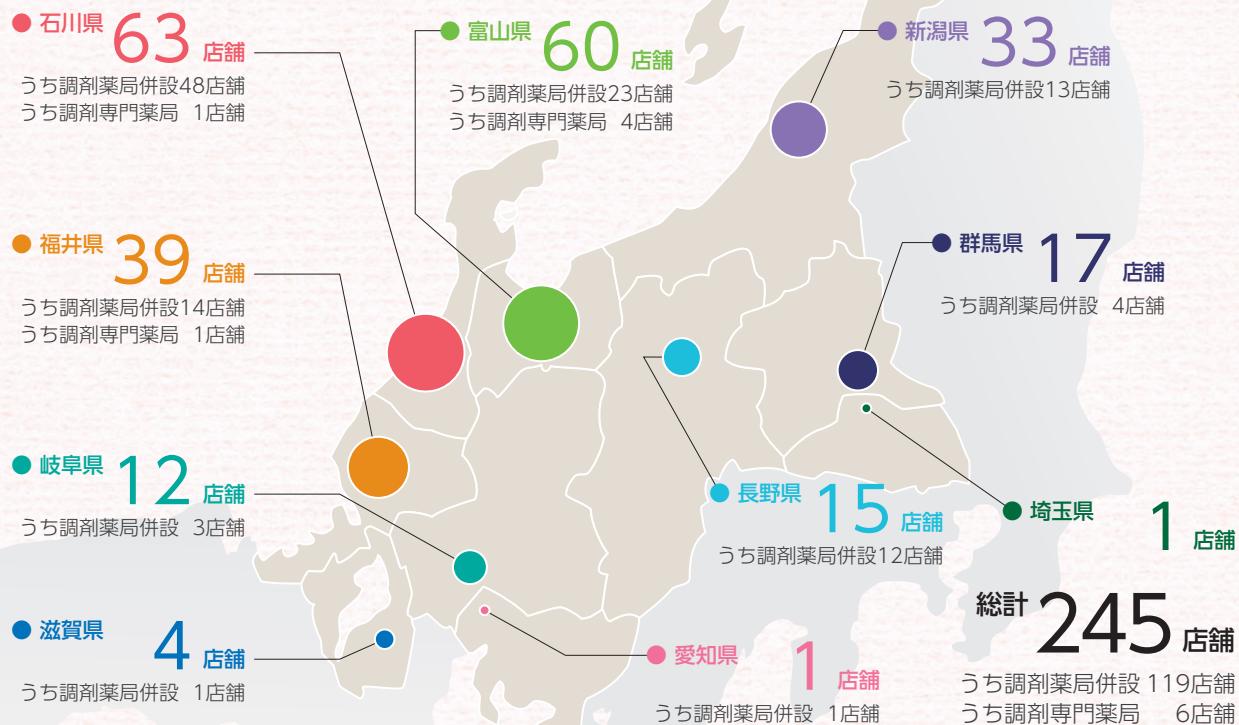
（単位：千円）

科目	当 期 (平成25年5月21日から 平成26年5月20日まで)	前 期 (平成24年5月21日から 平成25年5月20日まで)
<b>①営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>6,306,370</b>	<b>4,497,591</b>
<b>②投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 7,229,865</b>	<b>△ 3,974,932</b>
<b>③財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>2,331,035</b>	<b>△ 695,812</b>
現金及び現金同等物の 増加・減少(△)額	1,407,540	△ 173,153
現金及び現金同等物の 期首残高	3,850,448	4,023,602
現金及び現金同等物の 期末残高	5,257,989	3,850,448



## 店舗数の状況 (平成26年8月20日現在)

Number of Stores by Region



## 会社沿革

Corporate History

- 昭和60年 株式会社クスリのアオキ設立
- 昭和61年 1号店を石川県金沢市に出店
- 平成9年 富山県1号店を砺波市に出店
- 平成9年 福井県1号店を福井市に出店
- 平成9年 株式会社ツルハと業務・資本提携
- 平成13年 イオンウエルシアグループ(現ハピコムグループ)に加入
- 平成15年 イオン株式会社と業務・資本提携
- 平成17年 新潟県1号店を上越市に出店
- 平成18年 東京証券取引所市場第二部に上場

- 平成19年 100店舗を達成
- 平成20年 長野県1号店を長野市に出店
- 平成23年 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
- 平成24年 群馬県1号店を伊勢崎市に出店
- 平成24年 株式会社A2ロジを設立
- 平成25年 岐阜県1号店を岐阜市に出店
- 平成25年 200店舗を達成
- 平成25年 滋賀県1号店を栗東市に出店
- 平成26年 愛知県1号店を一宮市に出店
- 平成26年 埼玉県1号店を深谷市に出店

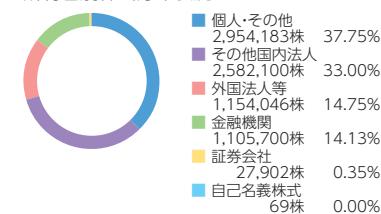


## 株式の状況 (平成26年5月20日現在)

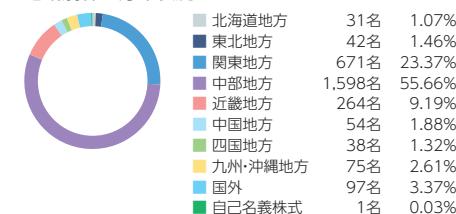
Stock Information

発行可能株式総数 20,000,000株  
 発行済株式の総数 7,824,000株  
 株主数 2,871名

所有者別株式分布状況



地域別株主分布状況



※当社は、平成26年5月21日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって分割するとともに、発行可能株式総数を40,000,000株とする定款変更を行っております。

## 株主優待制度

Shareholders Special Benefit Plan

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、年1回、株主優待制度を実施しております。

- 対象株主様 毎年5月20日現在の株主名簿に記録された1単元(100株)以上ご所有の株主様
- お申込み方法 「株主優待のご案内」に添付された返信ハガキにて、8月末日までにお申込みください。  
※なお、「株主優待のご案内」は、毎年8月初旬にお届けする「定時株主総会招集ご通知」に同封させていただきます。
- 贈呈時期 毎年9月末頃～10月のお届け予定 ※商品によって贈呈時期が異なります。
- 優待内容 **AまたはBのいずれかおひとつ**

### A 株主優待カード

当社店舗および「クスリのアオキネットショップ本店」\*でのお買い物時にご利用できる  
**5%割引カード**



※「クスリのアオキネットショップ本店」での割引については、平成26年5月20日現在の株主名簿に記載または記録された株主様より適用いたします(「クスリのアオキ楽天市場店」等、インターネットショッピングモールへの出店店舗は対象外)。  
 ※ネットショップは商品ごとに5%割引となります。

### B 地方名産品

ご所有株式数に応じた2,000円～5,000円相当の品  
 今年の5,000円相当優待品

Maple House  
 セレクト焼き菓子セット



信州 樹田屋  
 信州そば詰合せ



JA金沢市  
 加賀野菜 五郎島金時

